



夏季スポーツ大会・ソフトバレーボール大会の様子。(関連記事：5ページ)

今月の村長室から

○総合防災訓練を実施しました。

二日に行なった防災訓練には約九百八十人の皆さんに参加して頂きました。ここ数年本村では水害や土砂災害が発生しています。阿寺断層帯に含まれる本村は、水害だけでなく地震にも十分な警戒が必要です。今回の訓練では東海・東南海地震が複合型で発生し、各集落で甚大な被害が発生したとの想定で、自治会長や自主防災会長を中心に安否確認や危険個所の調査、平と大口の方には避難所生活用間仕切りセットの組み立てなどの訓練を行いました。南海トラフ巨大地震の発生が懸念される昨今、日頃から防災意識を高め災害に備えて頂くことが重要です。



the most beautiful
villages
in japan

○九月の行事について

十二日から第三回定例議会が開かれています。また十六日は第三十六回郷土歌舞伎公演が開催されます。美しい村連合の審査でも村の伝統文化として高い評価を頂きました。例年多数の愛好者に村外から来て頂いています。また上演外題の「奥州安達ヶ原三段目袖萩祭文の段」は、三十日に可児市の文化創造センターで行なわれる第二十回飛騨・美濃歌舞伎大会でも上演されますので、皆さんの応援をお願いします。

高齢者訪問を二十七日に行なう予定です。村内では百歳以上の方が五人となりうれしいことです。当日は百歳以上の方と米寿を迎えられる方のお宅を訪問させていただきます。

○ぎふ清流国体は今月から開催

国体の開会式が二十九日に岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催されます。村からはクレール射撃に野村孝さん（柏本）、清流大会のサッカーに熊崎将大さん（神付）が出場されますし、その他大会役員として多くの方が参加されます。

本村では、正式競技はありませんがデモスポ行事として三十日にウォークラリーをこもれびの里で行ないます。皆さんの応援をお願いします。

9

東白川村夏祭り 会場大盛り上がり



ステージ前の飲食スペース



盆踊りも大盛り上がり



各種屋台も大好評

八月十四日、村の四大イベントのひとつ、東白川村夏祭りが中川原水辺公園で行なわれました。何度か降雨に見舞われる中、村民や帰省客などおよそ二千人の人々が集まり、会場は終始にぎわいを見せました。こうして多くの実行スタッフの努力により夏祭りは大成功のうちに幕を閉じました。

この日は朝早くから雨が降り祭りの開催が心配されましたが、準備が開始される九時頃にはなんとか小雨程度に落ち着き、開始の時間には降り止みました。

午後二時に夏祭り実行委員長の古田康二さん（平）による開会宣言で、夏祭りが開始しました。

会場に立ち並んだのは金魚すくいや輪投げ、射的など十六店舗のバザーや露天商です。

また、ステージ前には机と椅子を並べた飲食スペースが作られ、出店巡りを終えた来場客がゆつくりとステージイベントを楽しんでいる様子でした。そのほか東側の広場ではペタンク、ターゲットバードゴルフが始まり、老人クラブ・ペタンク部の皆さんが指導に当たり、比較的若い世代を中心に楽しんでいました。ステージイベントでは安江太一さん（中通）によるボーカロイドとシンセサイザーを駆使したライブ、ほつと茶んねるでおなじみ「健康体操」の公開収録、中学二年生企画の

クイズ、そして中学三年女子の「Reversi」、小学生女子の「HSK11」二つのグループによるダンス、ナウパカ東白川フラダンスなど多くの出演者が会場を盛り上げました。また国体のPRでおなじみの「ミナモ」も祭りの応援に駆けつけ、今年公式デビューした村の「ツッチー」「ノコリン」とミナモダンスで共演を果たします。

そのほか会場内で子どもたちに向けたイベント「ムラベンチャー」も開始。実行委員から受け取ったスタンプカードにスタンプを集めるため、会場内の各テントを巡っていきます。

東側の会場でペタンクが終了すると、いよいよ盆踊りの始まりです。老若男女様々な人が定番のかわさき、春駒やポップスなどに合わせて楽しそうに踊っていました。

祭りの最後を飾ったのは夜の空を彩る花火。九百発のスターマインに見物客は歓声をあげて見入っていました。



着々と準備が進む



オリジナルTシャツで臨む本番



会議の様子

○実行スタッフを新たに

昨年までは商工会青年部が中心となつて夏祭りを主催してきましたが、近年の青年部員数の減少によるスタッフ不足で開催が難しい状況に。そこで今年は、村内の若い人々とともに全員が主役となつて夏祭りを作り上げようと「夏祭り実行委員会」を新たに立ち上げました。村内に呼びかけてスタッフを募つた結果多くの若者が集まり、青年部員も含めおよそ五十人となつた実行委員会は、祭り当日に向けて活動を開始します。

六月五日に行なつた最初の会議では開催する日時と場所を決定、そして老若男女様々な人が楽しめる祭りにしようとして話し合いを行ないました。

まずはそれぞれの子どもの頃の祭りの思い出を語り合つたところ「金魚すくいや玩具の店を巡るのが楽しかった」という意見からそういった屋台を増やすことに。そのほか会場への配慮や盛り上がりを考え、て花火はスターマインのみにするなど多くの提案が出され熱心な話し合いをしていました。

これらを基に以後も会議を重ね、

今回の夏祭りの開催へ繋げていきます。

祭り本番ではこれらの工夫による影響か、どの世代の来場者も比較的に長く会場に滞在している様子が見られました。

そのほかスタッフの前日・当日の念入りの準備や当日の素早く・柔軟な行動で、祭りは滞りなく進んでいきました。

祭りを終え、八月二十八日には会場やイベントなどの責任者による反省会を実施。「駐車スペースがギリギリだったので、さらなる確保を」「マイクの電波が届かずインタビュー出来ない場面があつたので本部の場所を考慮する」「一般向けの盆踊り教室を開催する」など、来年に向けた課題や提案が話し合われ、来年度の夏祭りへの反映が期待されます。

商工会青年部長の田口房国さん(平)は「多くの方に会場に来てもらえてうれしかったです。村の人をはじめ多くの人が集まる夏のイベントとして、実行スタッフとともに来年以降も今まで以上に楽しい祭りを作り上げていきたいと思ひます」と話していました。

○地方自治功労に叙勲

—安江公平さん高齢者叙勲—

平の安江公平さんに地方自治への貢献により瑞宝双光章が授与され、八月三日に村長から勲記と勲章が伝達されました。

安江さんは昭和二十二年四月に本村役場に奉職し、以来平成二年までの四十三年間特別職を含む村職員として勤務されました。

昭和五十四年には収入役に選任され、以後九年間適正な出納管理に努められました。そして昭和六十三年から平成二年までの二年間は、村の助役として村政発展を陰で支え、地方自治の安定運営に尽力されました。



叙勲を受けた公平さんと奥さんの峰子さん

○平和への思いをより強固に

—平和を祈念する行事—



黙祷を捧げる参列者ら

六十七回目の終戦記念日を迎えた八月十五日に「平和を祈念する行事」が慰霊塔前で行なわれ、遺族や慰霊塔奉賛会の役員などおよそ百人が参列しました。行事では関係者の玉串奉典、参列者全員での正午の時報に合わせた一分間の黙祷と献花が行なわれました。奉賛会会長の熊澤健さん（黒渕）は挨拶の中で慰霊塔について「戦争の記憶をとどめ犠牲者を追悼できる施設として後世に残していきたい」と話されました。

毎年この日に戦争の悲惨さを再認識し、平和への思いをより強くしていきます。

○暑い夏、ちよっぴり涼しい一日を

—保育園おばけ大会—

夏真っ盛りの八月十七日、みつば保育園は子どもたちに涼しげな一日を楽しんでもらおうと、園児全員を対象におばけ大会を開きました。

園児たちは年少・年中組は保育士や友達と、年長組は一人で絵や飾り付けでおばけ屋敷と化した遊戯室を恐る恐る進みました。

保育士が変装したおばけに遭遇すると泣きだしてしまう子や驚いて逃げ出す子などいましたが、最後のお化けにご褒美のおやつをもらおうとどの子もちゃんとお礼を言い、全員が無事にゴールすることができました。



ゴールでご褒美のお菓子をもらう

○掃除を通して自分を磨く

—掃除に学ぶ会—



裏側まで丹念に磨きました

八月十九日、東白川中学校PTAの環境整備作業が行なわれました。

そのうち一年生はNPO法人「日本を美しくする会」の指導のもと、トイレ掃除を通して生徒自身の成長を促す恒例の「掃除に学ぶ会」に取り組みました。生徒たちは普段は見えない便器の汚れに驚きながらもスポンジやペーパーなどを使用して掃除を行ない、およそ二時間の作業でどのトイレも美しくなりました。

この日の反省で生徒は「汚かったが、その分やりがいがあった」「とてもきれいにできて達成感を得た」などと話していました。

○ものづくりとエネルギー体験

— 小水力発電実験会 —

八月二十五日、道の駅茶の里東白川のモデルーム付近で小水力発電装置の実験会が行なわれ、前年度の研究会の参加者ともものづくりが好きだという小学校高学年六人を含めた十五人が参加しました。

NPO法人地域再生機構の講師によるエネルギーや発電機の説明を受けた後、装置の組み立てを開始。水流を受ける羽根の取り付けに手間取りながらも一時間半ほどで完成しました。近くの水路での実験では、見事にLEDライトが点灯しました。子どもたちは「水で電気が点くのは驚いた」と、自然エネルギーについての関心を示していました。



真剣な顔で組み立てる

○災害に備えて地域を把握

— 土砂災害警戒区域説明会 —



図上訓練に意欲的に取り組む様子

土砂災害を始めとする災害に備える説明会が八月末から九月中旬にかけて村内六箇所で行なわれました。

説明会では可茂土木事務所の技師による土砂災害警戒区域に関する説明のほか、地図で危険箇所や要援護者の把握、避難所や経路の確認をする災害図上訓練が行なわれました。

九月三日の伝承の館での図上訓練では、昨年の豪雨で避難所までの道が水没していた経験から、個人宅を避難所に指定した班もありました。

この説明会と訓練を通して、各地域の防災意識が高まる様子が見られました。

○危険個所を実際に確認

— 九月二日総合防災訓練 —

九月二日、村内全域で総合防災訓練が行なわれ、およそ九百八十人の村民は八時の避難告知で各避難所へ避難を開始しました。

避難が完了すると、各集落ごとの二次訓練が開始されました。すでに災害図上訓練を終えた集落では、自主防災会役員により避難ルートや危険箇所の目視での検証が行なわれていました。また消防団は平・陰地・大明神の三ヶ所で消火栓ホース点検作業を行ないました。

毎年この訓練で村の「防災」を再認識し、いつ起こるか分からない災害に備えます。



消火栓ホース点検作業の様子

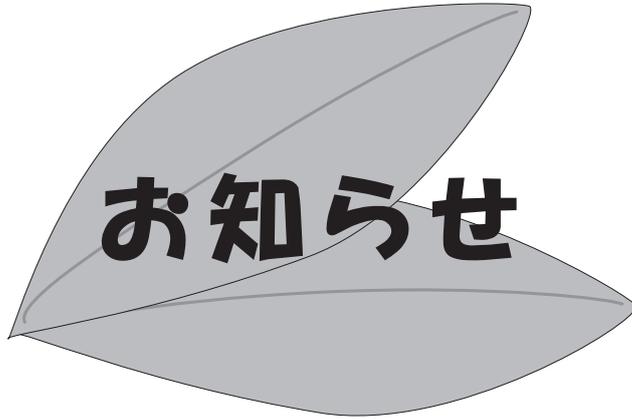
○夏の熱戦、世代を越えて

— 夏季スポーツ大会 —

八月十九〜三十一日に、毎年恒例の夏季スポーツ大会が行なわれました。各大会の結果は次の通りです。

- ・ソフトバレーボール
 - 優勝：華の木、準優勝：たいらつち、三位：日向
- ・グラウンドゴルフ
 - 男子の部 優勝：村雲茂（中通）、準優勝：安江巖（大明神）、三位：鈴木英二（陰地）
 - 女子の部 優勝：今井明美（中通）、準優勝：古田信子（上親田）、安江美也子（上親田）
- ・ゲートボール
 - 優勝：長寿会、準優勝：常磐会
- ・ソフトテニス
 - 三位：高砂会
 - ・ソフトボール
 - 優勝：ビートルズ、準優勝：小谷
 - 三位：花の木
- ・ソフトテニス
 - 優勝：松岡亜希（陰地）、今井雅代（大沢）、準優勝：林俊宏（加舎尾）、佐伯龍彦（美濃加茂市）、三位 佐伯詩織（美濃加茂市）、安江しほり（相本）

（敬称略）



子育てママの会 10月開館日						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	⑥
7	⑧	9	10	11	12	⑬
14	15	16	17	18	19	⑳
21	22	23	24	25	26	㉗
28	29	30	31			

○が開館日です

非常時持出品・備蓄品を準備しましょう

近い将来に発生が危惧されている「南海トラフ巨大地震」のような大規模災害が発生した場合に直ぐに避難できるように、日ごろから「非常持出品」を備えておくことが大切です。

下記を参考に、持ち出し品を点検し□にチェックを入れてみてください。

○一次持出品…避難時に最初に持ち出すもの

- ・貴重品 □通帳類 □車や家の予備鍵 □証書類 □身分証明書 □健康保険証 □免許証 □印鑑 □現金（小銭があると便利） □予備のメガネ、コンタクトレンズ
- ・情報収集用品 □携帯電話（充電機器含む） □携帯ラジオ □家族の写真 □緊急時の家族、親戚、知人の連絡先 □筆記用具
- ・食糧 □非常食（乾パンなど） □飲料水
- ・救急用品 □救急セット □常備薬、持病薬
- ・生活用品 □着替え □タオル □マスク □簡易トイレ □トイレットペーパー □ウェットティッシュ
- ・便利品 □懐中電灯 □予備電池 □笛やブザー □使い捨てカイロ □軍手 □防災ずきん、ヘルメット □万能ナイフ □雨具

○二次持出品…自宅や避難所で自力で過ごせるよう準備しておくもの（3日間程度）

- ・□食糧…簡単に調理できるもの、そのまま食べられるもの（缶詰やレトルト食品、カップ麺、チョコレート、ビスケットなど）
- ・□飲料水…1日3ℓが目安（大人1人）。この他洗濯、トイレなどにも必要です。
- ・その他 □洗面用具 □ビニール袋 □レジャーシート □毛布 □スリッパ □カセットコンロ □マッチ、ライター □ろうそく など

※この他にも家族構成によって必要なものも変化します。（例：赤ちゃんがいる家庭はおむつ、粉ミルク、哺乳瓶など）それぞれの家庭に合わせて必要なものを相談して準備してください。
※持ち出し品はリュックなどにまとめて、取り出しやすく災害の影響を受けにくい場所に保管しておきましょう。

避難所生活を体験してみてください

台風や地震などの災害時、各地域の避難所への避難が必要となる場合があります。このような避難所で生活する場合の雰囲気や体験をいただく訓練を実施します。ぜひご参加ください。

○内容 ①間仕切りの設置～撤去

②災害対策の講話やビデオ

③避難所での食事の体験 ほか

○日程 第1回…9月29日（土）中学校体育館 午後5時～朝まで

第2回…10月13日（土）小学校体育館 午後5時～朝まで

○申込み・お問い合わせ

・国保診療所 TEL：78-2023 ・総務課行政係 TEL：78-3111（内230）

戸籍の窓

8/1
～ 8/30

(敬称略)

○誕生おめでとうございます

安江仁 (健太郎・宋雪英 / 神付)

○お悔やみ申し上げます

安江清 91歳 (大明神)

ありがとうございました

8/1～8/30

御寄付

(敬称略)

【東白川村】

■環境整備事業指定

金1万円…伊藤照夫 (松戸市)

■医療・保健福祉部門指定寄付

金5万円…古田美起男 (宮代)

金10万円…安江久夫 (日向)

ナイロン袋…今井修子 (大沢)

清拭布、オムツ…匿名

【社会福祉協議会】

金10万円…安江良彦 (日向)

金2万円…(株)ふるさと企画

金2万300円

…立正佼成会中津川教会加茂支部

せせらぎ荘指定寄付金10万円

…藤掛廣幸 (千葉県)

清拭布、洗剤、ナイロンたわし

…島倉淑子 (下親田)

古切手、テレホンカード

…安江勝代 (下親田)

古切手…(有)新世紀工房

古切手…匿名

東白川森林組合月末報告 第649回共販会

ひのき 13cm以下小丸太…平均単価/7,800円

ひのき 14cm以上…平均単価/19,700円 高値/315,000円

すぎ…平均単価/10,300円 高値/30,000円

赤まつ…平均単価/6,000円 高値/8,500円

総取扱量/534m³ 総販売高/873万9千円

木造住宅の無料耐震診断・補強工事の助成について

村では木造住宅の無料耐震診断と耐震補強工事の助成を実施しています。大地震による倒壊からご自身、ご家族の生命と財産を守るため、ご自宅の耐震診断を受けてみませんか？

○無料耐震診断…

住宅の耐震診断を無料で行ないます。なお耐震診断は村が委託した診断士が伺います。

対象となる住宅の条件

①昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅。

②一戸建て住宅または併用住宅で、併用住宅の場合は延べ床面積の半分以上が住宅として使用されているもの。

③在来軸組工法・伝統的工法または枠組み壁工法で建築されたもの。

○耐震補強工事…

村の耐震診断を受けた結果、耐震性が基準以下の住宅に対し耐震補強工事の助成を行ないます。

対象となる補強工事

岐阜県木造住宅耐震診断士が設計管理を行なう耐震補強工事で、耐震性が一定以上の基準を満たすこと。

助成限度額

助成の割合…70% 対象の工事費の上限…120万円

(助成金の限度額…84万円)

※限度額は1棟当たりの金額です。限度額を上回る分は、すべて自己負担となります。

※助成金の財源は、村の他に国や県の補助金も含まれます。

○問合せ先 役場産業建設課 建設係 78-3111 (内線280)

多重債務無料相談会のお知らせ

返しきれない借金の支払いに困っている、利息を払い過ぎているかもしれない、とお悩みの方はご相談下さい。

○日時 10月13日(土) 13:00～16:00

○場所 県民生活相談センター

(岐阜市藪田南5-14-53 ふれあい福寿会館1棟5階)

○相談方法 ①面接相談 (要予約、10月12日までに下記電話番号に申込みしてください)

②電話相談 (開催日の時間内に下記番号へ)

○申込み・お問合せ 県民生活相談センター

TEL: 058-277-1003

加茂医師会 10月の休日診療のご案内 (診療時間: 午前9時～午後5時)

日付	曜日	当番病医院	住所・連絡先 (市外局番:0574-)	医師
7	日	土屋クリニック	美濃加茂市蜂屋町中蜂屋 4479 TEL: 28-5955	土屋朝則
8	月	林クリニック	美濃加茂市前平町 1-100-1 TEL: 28-8899	林宏史
14	日	交吉医院	美濃加茂市森山町 3-10-5 TEL: 25-2712	瀨瀨芳明
21	日	いこまファミリークリニック	美濃加茂市加茂野町市橋 1065 TEL: 54-1233	生駒哲朗
28	日	太田メディカルクリニック	美濃加茂市太田町 2825 TEL: 26-2220	佐々木裕茂



発行／東白川村役場 Tel 0574(78)31111
IP 05016000170000

岐阜県加茂郡東白川村 土548

編集／東白川村広報誌編集委員会
印刷／下呂印刷株式会社

9月・10月は自動車点検整備推進強化月間

長く使用している愛車は特に点検・整備が必要です。

日常点検…日ごろ自動車を使用しているなかで、走行距離や運行状態から判断し、適切な時期に点検を行なうことが必要です。チェックしてみましよう。

定期点検…安全の確保・公害防止の観点から、自家用車については1年ごとに定期点検を実施する必要があります。

日常点検15項目

▼エンジンルーム5項目

- ①ブレーキ液の量 ②冷却水の量 ③エンジン・オイルの量 ④バッテリー液の量
- ⑤ウインド・ウォッシャ液の量

▼外回り4項目

- ①ランプ類の点灯・点滅 ②タイヤの亀裂・損傷の有無 ③タイヤの空気圧
- ④タイヤの溝の深さ

▼運転席6項目

- ①エンジンのかかり具合、異音 ②ウインド・ウォッシャの噴射状態
- ③ワイパーの拭き取り能力 ④ブレーキの踏みしろ、効き具合
- ⑤駐車ブレーキの引きしろ（踏みしろ）⑥エンジンの低速、加速状態

推進：国土交通省・自動車点検整備推進協議会

短歌



鮎を獲る 網にかかりし 病葉は 頑く絡みて 晩夏となりぬ	今井米子
巻く潮は 幾百千の 童神が 舞う姿なり 鳴門の渦は	今井光彦
孫や子の お盆の集いの バーベキュー 嫁二人増えて 総勢十七	荻田良香
ひ孫達 帰った後の 部屋すみに ゴム風船は しぼんで転がる	荻田清美
幾重もの 踊り納めの 人の輪を 出て心ちよき 風は秋なり	小林道子
竹槍を 持ちて藁苞 突き居りし 乙女も八十路 ころろし生きん	田口かずみ
盆来れば 茄子のお馬を 作らむと スタイル良きを 選ぶ夕暮れ	安江 澄
真夏日を プールではしゃぐ 園児らの 声ひびきつつ 保母も憩いぬ	安江守平
携帯も バイクも排除で 身の軽し 悔ひは残れど 己の定め	安江嘉子
たまゆらを 稲妻走る 窓ごしに 夕べの煮物 においくるなり	安江とくよ

(平成二十一年発行 木の実会短編集【第三集から】)

人口の動き

—8月末住民登録人口から—

世帯数	867世帯
人口	2659人
	(男 1,275人 女 1,384人)
転入	5人
転出	6人
出生	1人
死亡	2人
先月と比較して	2人減
昨年と比較して	40人減

編集後記

今月号で触れた夏祭り実行委員会には私も参加し、祭りづくりのお手伝いをさせていただきました。

会議で話し合ったり、準備に取り組む委員の皆さんはとても意欲的で自分はずいといくのが精一杯だったと思います。

当日は天候が悪い中多くの来場者で賑わい、成功と言える結果に終わって本当によかったと思います。

その後の反省会でも課題や提案が熱心に検討され、来年も今年以上の素晴らしき夏祭りになることが期待できました。(H)